



樋渡 利光

## クリーク防災事業について

市長 土水路部の  
のり面対策が緊急の課題

**問** クリークは重要な用排水路として三日月農業を支えてきた。今のクリークは雑草が生い茂り、のり面は倒壊が相次ぎ営農に支障が生じる。クリーク整備について4年前に請願書を提出しているが、どうなっているか。

**問** 三日月浄化センターは完成しているが、まだ公園は整備されていない。

三日月浄化センターについて

**答** 市内のクリークは大半が土水路で三日月の南部地域も同様で現在の取り組は、平成21年度国の機関で九州農政局北部九州土地改良管理事務所において地域整備方向検討調査が実施されている。小城市は三日月南部を含め市内5か所を調査、22年度に整備の方向が示される。

**答** 地元集落との協議に基づいて逐次整備を進めている。



▲整備を待つクリーク



▲三日月浄化センター

香月チエミ



## 認可外保育所へ実情に即した支援を

教育長 国策に期待しながら支援策を充実させたい



▲元気に遊ぶ園児（認可外保育所）

**問** 認可外保育所は、最近特に増加傾向にあるゼロ才児から1才児の待機児童の受け皿になっている。すべての子どもたち、すべての子育て家庭への支援といながら認可保育所に入所できない、質の保障も公費投入も得られない、不公平である。

- 答** ①市内の設置状況は。②支援の現状は。③今後の課題は。

①事業所内2施設を含む7施設に107名の入所。②国、県の補助金制度を活用し、県が

設けた認証保育施設の基準をクリアした施設を対象に児童・職員の健康診断の経費、児童の損害保険料、安全施設整備費（年1回10万円）の助成をしている。22年度は、市独自の補助の拡大（約100万円）を実施する。③公立・私立、幼稚園・保育園、認可・認可外の区別なく、就学前教育及び保育のネットワーク会議を開催して、支援策を展開する。

## 市民の安全、安心の道路整備を

**問** ①国道203号長神田交差点の市道に、右折車線の検討が是非必要。②団地内道路などに基準を設けて整備できないか。

**答** ①県道昇格の要望をする。②市に譲渡すれば市の管理道路になる。



堤 克彦

### 国道203号からのアクセス道路の整備は

市長 都市計画決定済み、現在整備計画なし



▲信号機の設置要望が多い本告三又路

意見箱で今後もいく。意見、要望については、地区担当職員を通じて、見直しを含めて2週間以内で対応。「すぐやる課」の設置はない。

**問** 国道203号本告地区から、小城本町通り、小城公園へのアクセス道路を、中心市街地活性化事業と並行して整備できないか。また国道三差路付近に、歩道用信号機設置はできないか。  
**答** 昭和32年7月延長約600メートル幅員約8メートルということ都市計画が決定。中心市街地活性化事業での整備は計画していない。信号機の設置は、警察と協議を行った経緯がある。国道の拡幅がない現状では難しい。

**問** 各庁舎に意見書ボックスが置いてある。苦情・要望・市民の声として、どれだけの投函があっているか、それに対しての処理は。また意見書ボックスの機能が生かされていないのでは、苦情ボックスに変えたらどうか。対面で「すぐやる課」の設置は。  
**答** 意見書箱に意見が入っているのは、ごくまれな状況。月に何件かの投函。単に苦情のみの箱でなくて、意見箱で今後もいく。意見、要望については、地区担当職員を通じて、見直しを含めて2週間以内で対応。「すぐやる課」の設置はない。

市民の要望に対応できる組織づくりは



市丸 典夫



▲雇用促進住宅

**問** 国は、住民に対して、今年度の11月までに退去された方には移転費用を出し、それ以降は移転費用を出さないと通告している。住民の方の切り崩しである。市として住民の安心を確保するため

**答** 昨年の3月、国に雇用促進住宅のあり方について再考を求める要望書を提出した。県内の市長会また、県内の建設部長の会議の中でも問題を提起している。

**市長** 6月議会ぐらいいまでは結論を出す  
**問** 雇用促進住宅の廃止問題についてどのよ  
**答** うな検討を今まで進めてきたのか。

### 雇用促進住宅問題の解決策は

に結論をいつ出すのか。

**答** 市内2つの地区だけの問題ではなく、小城市全体の問題としてとらえるべきだ。財政面を含めた維持管理の問題、また公営住宅における指定管理者制度を十分検討しながら遅くとも6月議会ぐらいいまでは結論を出す。

### ゴミ中継基地について

**問** 中継基地の稼動が4月1日から始まった。その後の計画は。

**答** 稼動の状況をしっかりと見据え、事業がスムーズにいくよう全力を傾注していく。

### その他の質問

○保育園の施設整備について



岸川 英樹

## 22年度当初予算 （大型事業の取り組みは）

市長

将来の財源不足に対処し、  
基金の造成に努める

**問** 財政状況が大変厳しい中、大型事業に対してどう取り組むのか。

**答** 行政改革の推進に努め、新たな発想と厳しい選択によって、限られた財源を重点的、効果的に配分。一般財源の節減に努めるとともに、長期的に安定した財政運営ができるよう基金の造成に努め、持続可能な行政経営を行っていく。

**問** 中心市街地活性化事業で見直しされたが、どんな内容なのか。

**答** 市民交流プラザは見直しはしていない。小城駅周辺の整備は、J



▲整備計画されている小城公園

Rとの協議が長期間かかるので26年度までにできるのか検討している。小城公園の高質化事業は基本的に公園内は、いじらない。小城公園の入り口になる、旧老人センターが空き地になってい

るので、周辺の整備等を考えていく。中心市街地の活性化基本計画を5年間で計画し、この事業に對して、ある程度節減できるところは節減をしていく。当然事業費の見直しも出てくる。

上瀧 政登



## 中小企業小口資金融資条例はどうなっているか

市長 3月議会で条例改正をお願いしている

**問** 市内中小企業者は景気低迷の中、融資を受けるために大変苦勞をされている。小城市中小企業小口資金融資条例はどうなっているか。

**答** 今議会で貸付け限度額の運転資金500万円、設備資金700万円を、どちらも1千万円に、貸付期間も運転資金が5年以内、設備資金7年以内を、運転資金が7年以内、設備資金が10年以内と改正し、中小企業者に対し資金繰りの円滑化により経営の安定化を支援します。借り換えについては今後の検討課題とし、利子補給について



▲三菱マテリアル工場跡地（上砥川）

は考えていない。

### 三里・砥川の定住促進を図れ

**問** 市長は2期目の公約として三里・砥川地区の定住促進を図ると表明しているが三菱マテリアル所有の工場跡地の件も含め具体的な施策を示すべきだ。

**答** 両地区について優れた地域資源を生かして安全・安心な定住基盤の整備が必要でその基本は土地利用・住宅政策である。三里地区より提言書を頂いているので実現可能な施策を考えている。砥川地区は国道沿線の地の利を生かした地域振興策も含め周辺環境も十分考慮しながら検討しないといけないのかなと思っ

### その他の質問

○児童・生徒の健康増進について



合瀬 健一

### 当初予算が膨れ上がっている。消化できるか

**市長** 事務の効率化を図り、事業の執行に努める

**問** 当初予算が前年対比で相当に膨れ上がっている。また21年度の事業の積み残しが6億8千万円程度ある。22年度の予算は消化できるのか。

**答** 事務量が増加し職員の負担は増えるが、事務の効率化を図り増加した事業の執行に努める。

**問** 市債も増加し、基金も取り崩しがふえ、将来を危惧しているが。

**答** 国の交付金事業を活用し、安定した財政運営に努める。

#### 国民健康保険特別会計の健全化を図れ

**問** 国保会計の20年度決算は赤字であった。21年度の見込みは。

**答** 21年度も1億2千万の赤字と思われる。

**問** 赤字を一般会計より補てんできないか。

**答** 一般会計からの繰り入れの前に、徴収率のアップに努力する。

#### 名水サミットの事業に関して

**問** 名水サミットの前に河川の掃除を。

**答** 市内一斉清掃を実施しており、環境問題に取り組み機運である。



▶ごみが捨てられている河川敷

### 小学校卒業までの医療費無料化を

**市長** 県の助成が増えれば拡充を検討したい

**問** 「高卒まで医療費無料化」を長野県木曾町が新年度予算で提案した。

**答** 県内でも玄海町は中学校卒業まで入院通院は無料化。白石町は小学校まで入院無料。みやき町・神埼市は検討が進んでいる。市長はどう感じているか。

**答** 平成21年度に就学前まで入院、通院の無料化ができ非常によかった。



松尾 義幸

#### 市内すべての信号機の調査を

**問** 国道207号牛津本町5差路交差点では

荻刈方面から車きた時、前に大きな車が停止している。旧白木産婦人科前に、南から見える信号機を整備すること。市内

すべての信号機の調査を求める。

**答** 現在、小城市、牛津本町区、牛津中、牛津高校PTA連名で5差路交差点の要望書を作成中。信号機の調査は警察と連携してやります。

#### その他の質問

○203号線多久佐賀道路の計画案について  
○小城市政について



▲牛津町本町5差路交差点と信号機



深川 高志

## 平成22年度予算編成方針と 事業計画は

市長 事務事業評価表の活用や  
事業効果の検証実施

**問** 今年度予算編成については、事務事業評価表の活用、極力事務事業の統合による削減、事業効果の検証など行ったと言われたが、基金の借り入れまでして事業実施が計画されている。主要事業の工業団地については、庁議や戦略会議等で諮られると考えるが、何を議論して、責任をもって今回の予算に計上されているのか。

え運用する。

**工業団地の場所は適地か、5年で完売できるか**

**問** 工業団地を造成、5年で完売し、雇用は

100人を計画されているが、その根拠と必要性をどう考えているのか。

**答** 今回の造成地は、まず、市内の優良企業の育成、また、来ていただけの企業の付加価値を持つてもらえる場所である。5年以内の中で付加価値を認めてもらえる企業に来ていただけるよう、しっかりと努力する覚悟で上程している。

**答** 戦略会議の中で部長なりいろいろな意見、賛否両論出てきた中で、最終的に市長の公約でもありこの事業は進めていくと判断し、財源は公共施設整備基金から繰りか



▲工業団地予定地

樋渡 邦美



## 22年度の施政方針は方向性が出てない

市長 合併当初からの継続事業に花を咲かせる



▲総合運動公園跡地

**問** 市長の施政方針の中で厳しい財政状況を考慮し、極力新規の事業は控え、本庁舎などの継続事業を進めるための必要な措置を講ずると言うが、どのような措置を講ずるつもりか。また運動公園跡地については22年度も引き続き検討するとうが、10年が経過、一定の方向性を示すべきだ。

**問** 即戦力企業誘致基盤整備事業について雇用の確保の点から、企業誘致は必要。受け皿として工業団地の必要性はわかるが、現在市の大型事業の多発、これに伴う財政状況から見て22年度事業として疑問に感じる。また、ある程度市民のコンセンサスを得るべきでは。

また運動公園跡地については、進入道路の東側は、民間を含めて活用。西側は、体験とか、生涯学習の拠点として取り組みを考えている。

**答** 事業の中身の見直しをやりながら、事業費の軽減化に努めていく。

**答** 今回3ヘクタールとさせていただいて、企業誘致を進めていく。地元、あるいは集落の説明や協議会を実施していきたい。



岸川 弘文

### 定住促進の集落推進は急げ

市長 関係する各課で総合的に対応する



▲人口減少対策には定住促進

画することから総合的体制を作り、基礎調査、住民説明会を開催し、関係機関等の協議等を経て推進していく。現在の進捗率は体系、作業ともゼロ。

**問** 砥川地区の某集落は、近年人口が急激に減少し、高齢化率は38%、0〜14才の年少人口は、8・6%と極端に少なく、10年後は限界集落になる可能性がある。  
防災、治安、歴史、文化伝統を失い自治能力さえ失われ、集落が破壊されることは避けなければならぬ。定住促進は、地域の緊急な課題で、行政は承知のとおりで、昨年度市長は「推進体制は今後検討する」との答弁であったが、どのように検討したか。

**答** 合併後、市の人口は約500人減少し、少子、高齢化社会で今後人口減少社会が続くと予想される。これにストップをかける政策が必要。地域の特性を生かし調和の整った定住促進が必要であり、これには関係各課が連携して、事業体系、位置付け、人口推移等調査し、推進していく。

**問** 市総合計画と並行して策定される国土利用計画の進捗は。

**答** 国土利用計画は、総合的な土地利用を計画することから

### 農業荒廃防止対策は

市長 詳細には認知していない

**問** 国土保全や国民食糧問題、生活環境保全など農業の多面的機能が壊れようとしている。

会であり議論していないが、①中山間地域農業者に対するの考え方は、②担い手農業者でない農業者に対するの考え方は、

**問** 棚田が荒れて山林に変更されることについて棚田は重要な資源である。元に戻らないかと思っている。

**答** ①各集落で要望がない、江里山で取り組みをしている。耕作放棄地再生事業を継続する。②集落営農組織で活動していただきたい。



下村 仁司

**問** 19年からの農政は国とは異なる政策を行ったため、不利益農家が生まれている。市長の諮問機関である農政審議

**問** 今の答弁で不利益農業者が生まれている。実態を知らず、天山から有明海沿岸までの小城市の大地をどう活用するか。生まれ育った郷土をどう守るか。市長には大きな責任がある。

い。委託業者に要請して、運行できるよう相談する。

**答** 会議に当日資料配布では理解できず、戸惑いもある。農政審議会、水田協議会で協議している。

**問** 国土保全・環境保全・ダム機能保全のために山と平野部の地域間協定を結びお互い助け合うために市が助成金を出すという考え方はどう思われるか。

**答** 協定等を結んでいただけの手法が模索できれば良い方法と思う。

### 福祉日本一はうそか

**問** 身体障害者の県の福祉大会や県主催のスポーツ大会に土曜・日曜日は小城市のバスは利用できないとなっているが。

**答** 委託業者と協議したい。委託業者に要請して、運行できるよう相談する。



▲小城市内外から利用したいとの声が高いドウイング三日月

- 問** ①修理が必要な公共施設への対応は。  
②備品などを整理して安心で安全に有効活用すべき。  
③窓口対応と職員研修。  
④ドウイング三日月は県



江島佐知子

## 市長 公共施設は市民の利便性を一番に考えて施設の目的が十分達成できるように配慮する

中央にあり市外からの利用の要望も多いが、対応は。

### 答

①耐震の問題や大規模改修が必要な施設もある。統廃合も含めて検討していく。修理については、各部署から上がってきたものを緊急性などを検討しながら実施している。  
②安全性など不適切なところは指導していく。  
③窓口は嘱託職員も多い工夫して研修の機会を設けたい。  
④市内の方を優先している。今後はホームページなども活用し、利用しやすくしていく。

## 食育推進で健康増進

**問** ①食育推進計画の進捗状況と内容は。

②食育は新たな概念である。管理栄養士を正職員化して推進体制の充実を。

### 答

①3月中旬に最終答申が出る。「おいしい和、食で育む心と体」の基本理念と「AUMO計画」で取り組む。  
②現在嘱託の管理栄養士を1名配置している。食育計画の推進に向けて正職員配置の必要性を検討していく。

中島 正樹



## 健康福祉日本一へ向け市民の声の反映を

### 市長 実態調査等を行う



▲織島浄化センター

**問** 「健康福祉日本一」に向けての今後の取り組みはどうする。

**答** 本年度は、高齢者福祉計画の見直しを行い更なるサービスの向上に努めていく。

**問** 具体的な市民の声の反映等についての考えは。

**答** 高齢者の要望等、実態調査を行っていく。

**問** 下水道計画縮小にもなう対象外エリアは。

**答** 現段階では公表できない。

**問** エリア外に対する早急な対応をするべきではないか。

**答** 検討していく。

**問** 市民病院改革プランの進捗状況は。

**答** プランに沿って、現在取り組んでおり、一定の成果は上がって来ている。

**問** 今後の取り組みと考え方は。

**答** 目標達成に向けて、職員と一丸となり地域に必要とされる病院を目指して努力していく。



大坪 徳廣

## 本庁舎建設について

市長 地区の皆さん方のご理解、ご協力が不可欠



▲本庁舎周辺整備が求められる

○地域産業の浮揚対策について

### その他の質問

○「ほたるの郷」と連携し知恵を出し合い野菜の作付拡大を図る。

**答** 小城庁舎は交流拠点としての機能を充実させ、中心市街地の核と

**問** 現小城、牛津、芦刈庁舎の方向性は。

ソリンスタンド、畜産農家についても、今後地権者、地元への説明が行われる。

**答** 現在、国道事務所、佐賀土木事務所、市の3者による設計の協議を行っており、具体的には国道西側の歩道設置、庁舎への右折レーンの増設等の計画設計、JAGソリンスタンド、畜産農家についても、今後地権者、地元への説明が行われる。

**問** 周辺整備について。

して整備し、芦刈庁舎はまちづくり交付金事業の拠点形成の中で検討し、牛津庁舎は現在の公共設備の整備状況を踏まえ検討する必要がある。

### 農業の振興対策は

**問** 第48回農林水産祭で「ほたるの郷」が天皇杯の最高賞を受賞され心よりお祝いを申し上げ敬意を表します。これを機に今後地域にどう活かしていくか。

**答** 受賞を契機に岩松地区で80アールの耕作放棄地の解消をすすめ、これからも「ほたるの郷」と連携し知恵を出し合い野菜の作付拡大を図る。

## すべての幼稚園保育園の 民営化は疑問だ

市長

全部なくすのが本当に妥当か  
今後検討したい



▲牛津幼稚園

**問** 民営化される牛津保育園で、少ない正規職員と日々雇用職員で、

園児の情緒不安を起こさない支援体制はどのよう  
に考えられているのか。

**答** 小城市の宝である幼児教育を進めるため公立、私立関係なくネットワーク会議を立ち上げる。研修会や知恵を出し、いろんな課題を共有できるように、支援を行う。



諸泉 定次

**問** 公立保育園の民営化ガイドラインでは幼稚園も含めすべてを民営化。そうなれば小城市としての幼児教育のスキル（技術）をなくした状態で市として幼児教育が具体的にできるのか。

**答** ガイドラインに重きを持ちつつも、すべてをなくすのが本当に妥当かどうか今後、教育委員会ともしっかり煮詰める必要がある。

### 全国名水で 周辺整備を

**問** 全国名水サミットを契機に周辺整備について記念公園やホテルロードレースの再開など図れないか。

**答** 施設整備は目的外であり、周辺整備や記念公園、ロードレースも考えていない。水環境と水質保全の市民運動を盛り上げたい。

### その他の質問

○松本山の安全対策について  
○雇用促進住宅の市での買上げについて





▲天山自然塾（旧川内分校）「爺ちゃんはいいがよか〜」

**問** 市内の幼・保・小中の校名の頭に旧小藩の藩校名「興讓館」を冠し、子ども、教師、地域の意識を変える魅力ある教育の仕組みづくりに取り組まれては。

**答** 地域の方々が慣れ親しみ、熱い思いを持って思われている名前だけに、色々な意見を聞くべきではないかと思う。ものづくりを通して五感を函養するゆとり（ゆっくりとことん、そして、りかい）教育の強力な推進をどう図るか。

**答** 小城市の教育目標である知識基盤社会の構築のため、家庭における親子の学習の充実と生活リズムの立て直しの取り

**答** 助成する場合には、その法人の活動内容をしっかり把握してからの問題で、頑張っている所については人的、またそれ以外も含めて応援していきたい。

**問** 「志の縁（志縁）で結ばれているNPO（非営利活動）法人との今後の関係（助成）についてのお考えは。

組み「早寝、早起き、朝ごはん」の徹底を図りながら、知識は学校、地域や家庭では知恵を得るという小城市の生涯学習を志向していきたい。



富永 正樹

教育長

生活リズムの立て直しと家庭学習充実を図る

教育の聖地・小城の創生に向け独自の理念を

小城市教育委員会委員



西森 秀夫 氏

平成22年5月16日より議会で同意した。任期は4年間。

新しくなった  
議会広報編集特別委員会メンバーです。  
よろしくお願ひします。



樋渡 利光 委員

富永 正樹 委員

岸川 弘文 委員

諸泉 定次 委員長

市丸 典夫 副委員長

西 正博 委員

